



あけまして おめでとうございます

新しい年をご家族で、穏やかに迎えたこととお喜びもうしあげます。

私の町内では、全戸の正月用の注連飾りを作るのが恒例になった。今年も12/23日に農区の役員が町内の声援を受けて、注連ない作りに精を出した。今年は「段取り」が良くお昼過ぎに終わったようだ。

昨年を振り返ったとき、あれはまずかったな！失敗だったな！こうすれば良かったと、思うことがたくさんあった。その原因の一つに「段取り」のまずさがあった。

昔から、仕事や行事など何事も準備や計画、すなわち「段取り」が大切と言われてきた。特に米作りは「苗半作」とか「苗八分作」、「一石一寸」と言い、目の前の病害虫防除や施肥・水管理や除草を万全にしても反収の増や美味しい米はできない。先人の皆さんは「段取り」重視で米作りをし、日本一の魚沼コシヒカリを創り上げた。

「段取り8分」という言葉がありますが、プロジェクト（仕事）の成否は計画「段取り」で決まると言っても過言ではありません。

来年1月から1年間、NHK大河ドラマ「天地人」が放映される。南魚沼市に50～100万人の観光客が訪れると言われているが、訪れた人に満足してもらえるのか！当市を全国に発信できるのか！市に活力と経済波及効果が顕著に出るのか…！残された「段取り」は後1年……。

2008年今年も宜しく願い申し上げます。今年は「段取り」を大切にし、昨年にも増して、いい汗を共にかきましょ。

「1年の計は元旦にあり」のことわざにあるように、夢・目標を建て「段取り良く」スタートしましょう。



12月議会～峠新議長のもとで、市長と白熱した議論を展開！

先の11月12日の臨時議会で、松原議長から峠新議長にバトンタッチされ、初めての定例議会が12/11～21日の11日間の会期で開催される。議会最終日の議会全員協議会に次の3議案が協議される。

(1) 財政計画について

- ・平成33年度までの財政状況を推計し、25年度から単年度収支は好転する。

- ・県内ワースト1の実質公債比率は、9年後の28年度には17.3%で正常となる。

- ・22年度までの主要建設事業や、23年度以降の投資事業の考え方が示される。

(2) 天地人関連事業について

- ・「天地人博」を、六日町駅前のJA米倉庫を取得し、改装の上開催する。

- ・「直江兼続公伝世館」を坂戸地内に建設する。

(3) 魚沼基幹病院に係る要望書について（県知事、県会議長宛）

- ・内容は①開院時期を早期に示す②早期に着工する③医師不足の今、医師の確保、医師の派遣のについて

財政計画では、農業振興と観光業振興の面から質問する。天地人の関連施設では、他市に見劣りしない「天地人博」を創ること、大和、塩沢地区に観光客が流れることについて考えを問う。

● 一 般 質 問 ●

おはようございます。議会傍聴にお出でいただきありがとうございます。皆さんがこうして傍聴に来られるということが、市政に参加すること事であり、市の発展のためにも大切です。これからも色々な機会を通じて参加下さい。今日は本当に寒い中ご苦労様です。

初当選から、アッ！と言う間の2年間でした。後2年の任期です。「所信忘れるべからず」を肝に銘じ、これからも市の発展のために鋭意努力致しますので、宜しく願いいたします。

先に通告致しました2点について質問致します。

町づくりについて

良い町とは、市長どんな町だと思いますか。皆さんも良い町とは、どんな町が良い町なのでしょう。10人いれば10人とも考えはちがうとおもいます。若い人、高齢の方、男性と女性、様々な意見がある。

そういう中で私は、良い町とは、老若男女住んでいる人が、自分の町を誇りに思い、誇りを持って生き活きと話される町が良い町だと思う。「オラの町は、若いしょがほとんどいなくなって年寄りばっか

りだ。これから先どうなるがだろうか。これから冬は寒くていやだな。どっか暖ったかいところで住みてえよ。」と言うのと、「若いしょは外に働きに行き、いないけど、オラの町には、春の山菜、秋のキノコ、それに兎に狸、最近サルもでて来る。豊かな自然は日本一だ。そして、この雪は天の恵みだ。」と。

私はそこに住んでいる人が自分の町を愛し、誇りに思う方が大勢いることが良い町の証だと思う。そこには住民と行政、住民同士が信頼しあっている。

つい先週の木曜日・13日の「八色まちづくり協議会」では、地域振興局・市の皆さんと、新発田市に町づくりについて勉強に行ってきた。11月22日には県の金子土木部長が来られ、毘沙門通り、八色の森公園、八海山水無深谷の現地を訪れ、その後勉強会を開催した。その視察や勉強会を通じ、今、一番心配し懸念していることは、八色の森公園付近や学園都市にふさわしくない看板やけばけばしい色彩の建物、又、八海山や駒ヶ岳の景観をそこなう高さの建造物や住宅が出来ることだ。

来年、基幹病院の概要が見えてくると、企業の進出や不動産が動き、その動きは年々加速する。建物や建造物は建ててしまえば50年いや100年存在する。八海山、黄金色のコシヒカリ、八色の森公園、基幹病院や大学等の学園と共生・共存した建物でなければならない。

3月議会で私の質問に市長は「景観行政団体」になると言明したが取得が遅い。その時期はいつなのか伺う。そして、景観計画を住民と一体となり早く作るべきだ。景観計画作成のスケジュールの考えも合わせて市長に伺う。

今、毘沙門通りでは町づくりについて地域の皆さんと色々話し合いを重ね、県と市の支援を受けながら3回のワークショップを開催し、熱い議論を戦わせている真っ最中だ。

先月の29日、市主催の「認知症地域ケアネットワークでまちづくり」の講演を聴き、町づくりについて、頭からハンマーでガツーンとはたかれた思いが



町づくりについて、ワークショップ(寄り合い)開催

27日	26日	25日	22日	21日	19日	17日	16日	15日	14日	13日	12日	11日	11月21日	9日	8日	7日	5日	4日	3日	2日	1日	29日	27日	26日	25日	24日	23日	22日	21日	21月24日	20日											
市長後援会会議	まえたけ会議	都市計画審議会	住宅委員会	やまとビゴ大会	海外研修会	議会執行部と忘年会	議会運営委員会	総務文教委員会	一般質問で登壇	桜井新先生叙勲を祝会	(有)ウラコウ忘年会	大和町史編さん懇談会	おせつたいの会反省会	F M雪国と打ち合わせ	新発田市へ視察	記録保存幹事会	長農同窓会会議	定例議会	裸押合い調査委員会	福祉後援会大和支部	田んぼと森の命のまつり	第3回ワークショップ	行政大和地域区長会	つつじクラブ勉強会	議会運営委員会	7回JA政策研究会	裸押合い大祭役員会	(有)ウラコウ役員会	南魚沼農業者大会	「関常幸後援会」市政報告・忘年会	認知症支援講演会	同盟会設立	浦佐バイパス整備促進期成	湯沢議会との懇談会	大和中学創立40周年記念事業	KJ出雲崎会	常蔵「秋事」	白山神社新嘗祭	県土木部長勉強会	魚沼人間塾講演会	車歩共存社会実験	土改・農林懇談会

した。高齢者や弱者には安全で優しい町づくりでなければならないと話合ってるが、言葉だけが先行していた。

真の町づくりとは、道路が良くなったり景観が整備される事だけではなく、そこに住んでいる人全員が、健常者も障がいを持った方も、そして認知症の方も外に出たら安心して歩けるような町で無ければならないと言うことだ。そのためには、道路整備以上に、そこに住んでいる、暮らしている人々が、共に支えあい・共に助け合う、地域のコミュニティーが大切だ。

道路整備等のハード面ばかりでなく、住民が支えあうという視点が重要と思うが市長の考えを伺う。

〈市長答弁〉

景観行政団体になるため、県と協議を進めており、今年度末には県知事の同意が得られる予定だ。来年度から3カ年で景観計画を策定する。その策定にあたっては、市民の参加を得て策定する。

施設だけが整備されても、真の町づくりとは言えない。今バリアフリー法に基づいて、浦佐地区交通バリアフリー基本構想を策定中だ。都市計画課と福祉課の連携がより重要だ。

人事評価の導入について

市長は初日の議会、第103号議案、職員の給与に関する条例の一部改正についての質問の中で、明快に人事評価については、導入する。その必要性についても充分認識している。

昨年3月の私の一般質問でも、新しい組織体制になったら、検討し早く導入したいと答えていた。

初日の議会で市長は、人事評価システムの導入に最低2年～3年くらいかかり、試行的に実施すると話した。

市政は待った無しだ。今日も810人の職員が懸命に働いている。職員のやる気と高い能力無くして、



市役所大和庁舎

重要課題の財政健全化や市長が目指す「義と愛」による、愛民の精神を受け継ぎ「市民1人一人が市政の主役」の町づくりは、市長が旗を振るだけで終わってしまう。

新潟県35市町村の中でも井口市長は、時勢を的確に捉え、決断・行動とも敏速で、私は誇れる組長だ。

しかし、職員へは甘い。それは組長の一般的に見られる職員出身のせいかも知れない。又、管理職は概して市長は良い市長だとか、職員は、オラ課長は良い課長だと言う！それが悪いというわけではないが、仕事に緊張感がないと感じるのは私ばかりだろうか。

職員の皆さんは、優秀で高い能力を持っているが、それが引き出されないところに問題があるのだ。

市長、人事評価の導入に2年間は長い。新年度から充分対応できる。企業では当たり前の人事評価、地方公務員の人事評価システムも完璧に完成している。

人事評価は処遇（給与、賃金や賞与）に差を付けるのが目的でなく、職員個人個人の能力開発と能力向上が目的だ。その事が市民サービスの向上につながるからだ。市長の所見を伺う。

〈市長答弁〉

来年度から試行的に実施するが、評価者の訓練も含め、人事評価システムが確立するのに2年位かかるということ、何もしないで2年間準備するということではない。

活動日誌

19日	南茗荷沢企業会	23日	議員一年会
18日	荒川区毘沙門堂参拝	22日	中越大震災追悼式
16日	裸押合い大祭役員会	20日	三会派代表者会議
13日	J A大和OB会	19日	浦佐城狼煙上げる
12日	西山調査	18日	5回J A政策研究会
10日	国際大学25年事業	15日	政務調査(一戸町・気
9日	雪国まえたけ会議	14日	八色の森市民まつり
8日	菊まつり表彰式	13日	浦佐城「狼煙」会議
7日	浦佐城・薬師様設立の会	12日	N H K大河ドラマ「天地人」
6日	道州制セミナー	7日	第1回ワークショップ
5日	米山隆一ポスター張る	6日	市長後援会浦佐支部会議
4日	記録保存講演会	4日	N H K大河ドラマ研修
3日	「ささくら」奉納式	3日	大和地区議員会
2日	議会運営委員会	2日	車歩共存社会実験
1日	二会派会議	1日	大和地区自民党役員会
11月	大和地区自民党役員会	30日	二会派会議
10月	大和地区自民党役員会	29日	「お授け」御親化法要
9月	大和地区自民党役員会	27日	公園完成懇談会
8月	大和地区自民党役員会	26日	「お授け」御親化法要
7月	大和地区自民党役員会	25日	菊まつり審査会
6月	大和地区自民党役員会	24日	大和地区自民党役員会
5月	大和地区自民党役員会	23日	二会派会議
4月	大和地区自民党役員会	22日	二会派会議
3月	大和地区自民党役員会	21日	二会派会議
2月	大和地区自民党役員会	20日	二会派会議
1月	大和地区自民党役員会	19日	二会派会議



『笑』『楽』『喜』 の年に!!

関常幸後援会会長
北村 洋成



12月1日、後援会「市政報告会・忘年会」の集い

新年明けましておめでとうございます！こしも宜しく願いいたします。

平成20年、千支の最初のネズミ年、なんか決まりのいい1年になりそうですね！

暮れに降った雪で、スキー場も何とかお正月には営業でき、この地域に活気が出た気配です。降るべきときに降らないと困る人が大勢いると常日頃思い、まとまった雪が恋しい毎日です。

12月1日に開催した「関常幸後援会 市政報告会・忘年会」も例年にもまして大勢の参加者にご出席いただき、盛会にいい締めくりができて感謝申し上げます。

関常幸議員も3年目に入りました。今までの2年間の活動は、地域に密着した地道な活動をしてきたと思いますが、一期目の新人議員とはいえ3年目に入ったわけですので、今までの活動の新価が、市民の人達に問われる時期に来たとも思います。

1995年から始まった「その年を象徴する漢字」で、2007年(昨年度)の漢字は『偽』(清水寺住職書)でした。その一年が解る書です。せめて今年は『笑』『楽』『喜』そういった書で締めくくっていただけたらと思います。

関常幸議員におかれても、多くの課題や問題等は市民の皆さんと一緒に取組んでもらい、今年の千支のねずみのようにこまめに、そして自慢のフットワークで活躍していただきたいと思います。

議会傍聴記



浦佐 須佐 朝子

議会傍聴は、もう28年位前でしようか、小出町議会を傍聴したことがあります。その事がとても印象に残っており、「行きたいな議会傍聴…」と思っておりましたので、お誘いいただいて、胸をときめかせ議場に入りました。

一般質問、初日(12月17日)の二番目、関さんの質問「町づくりについて」は、私にとって大変興味深いものでした。

実は私、昭和57年11月15日(上越新幹線開業日)に浦佐に越してきて、商売を始めさせて頂いた日です。新幹線が止まる浦佐にあこがれて、家

をかまえ住みたい、それが目標でした。

そんな若き日の思いこみは今も変わりなく、浦佐が大好き！住んでる人が誇りに思い、訪れた人がホッと気持ちになれる…そんな「町づくり」の質問に深く引き込まれました。

高齢者や弱者に安全で安心な優しい町づくり、それは「人づくり」から始まるものだと思えます。

数年前、子どもがサッカーをしていて、早朝朝練や試合に行くのに送っていくとき、小出方面から汗だくで走ってくる関常幸さんの姿をたびたびお見受けしました。今回の「町づくり」にしても走り続けてほしい。

人づくり、町づくり、いろいろな課題の中、市長さんと議員さんのバトルもあり、市政を身近に感じることができました。次回も必ず行きま

●編集後記●

雪が降らないかと、天を仰いでいる毎日です。

「FMゆきぐに」で、「おらが毘沙門様」を一年間(月6回)放送します。そして、BSNテレビでも2月29日まで、裸押合い大祭のCMが流れます。応援願います。

上杉謙信公の守護神・毘沙門天が祀ってある浦佐毘沙門堂の裸押合いに、記録には無いが、樋口与六・長尾喜平次もきつと参加した。1月になると浦佐の男衆は「まつりモード」になり、今年も二〇一〇一年目の裸押合いの準備がはじまった。